

2018年10月21日 第234号 発行 嶋田住建

もっと住まいを快適に 住まいる通信

シリーズ リフォーム塾

メンテナンスをして、家の寿命を伸ばしましょう

二十五年や三十年で建替えや住み替えが必要だというのは昔の話で、現在はメンテナンスやリフォームをして住宅を長く使う時代です。

長い住宅ローンが終わり、名実ともに住まいが皆様の財産になったのですから、これからも大事に使っていただきたいとオヤジは思います。

住まいの目的は建てる事ではなく、家族の幸せを実現することです

三十年たった住宅を四十年、五十年と寿命を伸ばすことによって、一年当たりの建設コストと居住コストは大幅に低減します。本来は建主様が適正なメンテナンスを行えば、住宅は長く使えるものです。その結果、老後の豊かな人生にプラスになるのではないかと考えます。

仕事柄、たくさんの方に携わってきましたが、「リフォームより建替えの方がいいです」とお答えした住宅はほとんどありません。



昭和五十年以降に建てられた住宅は日頃の最低限のメンテナンスとリフォームをしていただければ、快適な生活を送っていただけます。

最近では築百年前後の住宅もリフォームしました。
住んでいる方の「建物を長く使う」という思いが大事なのです。

増え続ける空家と高齢者

現在の日本の住宅戸数は約六千万戸で、空家は約八百万戸あり、空家率は十三%を越えていて、これからさらに増える事が予想されます。少子高齢化による人口減少も進んでいますので、空家率が30%になるのはそんなに遠い将来ではありません。このような状態では、もはや新築や建替えをする理由がないようにも思えてきます。

悪徳リフォームにご注意を

メンテナンスやリフォームをする場合に業者選択が大事になります。お客様がご高齢であるという前提で何かアドバイスをいたします。

●お子さんがいらっしゃる場合は、即決をせずに必ず「家族と話し合います」。近づくにつれて、しやらない時でも後日必ずご相談して下さい。



●まだ何もしていないのに手付金を要求する業者は断つた方がいいです。
●会社には適正利益が必要です。よって、見積金額から大幅に値引きをする業者は問題があります。今だから安くするとか、キャンペーン中と言ってくる業者もあやしいです。
●時間にルーズなのは問題外です。

オヤジ日記

気がついたらあと二ヵ月

歳をとると月日の経つのが早いとはよくいったものです。気がついたら今年も二ヶ月ちよつとです。オヤジは年があけたら前期高齢者になります。会社を興したのが三十歳の時ですが、その若造がおかげ様でもまもなく六十五歳を迎えます。



これもお客様をはじめ、周りの皆様のおかげです。三十歳にならないとわからない事、四十歳や五十歳にならないとわからない事、そして六十歳になって分かった事。オヤジも色々ありました。人生は捨てたものじゃないです。これからは皆様に喜んでいただけるようがんばります。

当店のお客様をご紹介します

- 成田市N様
内外リフォーム
工事費▼二百五十万円
- 山武市I様
水廻りリフォーム
工事費▼百八十万円
- 東金市N様
塗替工事
工事費▼九十万円



ありがとうございました

メンテナンス・リフォーム・増改築・新築
お住まいに関する事でしたらどのような事でも
お気軽にご相談してください

ご相談・見積は無料です



メールお待ちしております
yuyuoyaji@docomo.ne.jp



ホームページも見てください

http://shimadajuuken.web.fc2.com/

おかげさまで地元で34年

わくわくリフォームショップ

(株)住まい工房 嶋田住建

建設業許可 千葉県知事登録(般-27)第50159号
特定非営利活動法人 住まいの構造改革推進協会正会員2-0305号

東金市油井188-61(ニュータウン丘の街内)

0120-910-720

TEL:0475-52-4037

営業時間:8:00~22:00